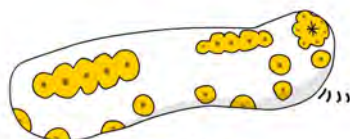


日本動物分類学会 第47回大会

(沖縄生物学会 第48回大会 合同大会)

プログラム



じゃのめなまこ



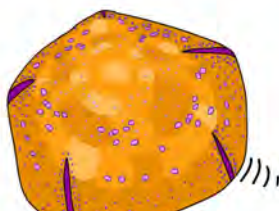
うみくわがたの仲間



すかしかしぼん



こんべいとうらみうし



まんじゅうひとで



おがさわらかむりと
ちゃつぼぼや



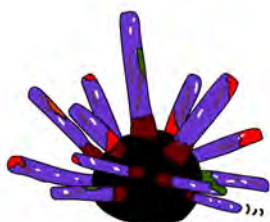
おおまるもんだこ



ほねりむしの仲間



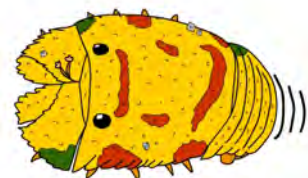
ひらた ぶんぶく



ばくだんうに



うみうさぎ



ぞーりえび

2011年6月3～5日 琉球大学

日本動物分類学会 第47回大会 プログラム

開催日: 2011年6月3日(土)~5日(日)

場所: 琉球大学千原キャンパス

大会日程・会場

大会会場・受付: 琉球大学 千原キャンパス 大学会館 3階

懇親会会場: 琉球大学 千原キャンパス 中央生協

評議員会会場: 亜熱帯島嶼科学研究拠点棟3F

6月3日(金)	15:00~17:00	評議員会
6月4日(土)	8:30~	受付
	9:00~12:00	口頭発表
	12:00~13:00	休憩(昼食)
	13:00~13:15	集合写真
	13:20~14:00	授賞式・受賞者講演
	14:15~14:45	口頭発表
	14:45~16:15	ポスター発表
	16:15~17:15	総会
	17:25~19:05	合同公開シンポジウム
	19:15~	合同懇親会
6月5日(日)	8:30~12:00	口頭発表
	12:00~13:00	休憩(昼食)
	13:00~	エクスカージョン

*本大会は、沖縄生物学会第48回大会との合同大会です。

*動物分類学会で受付をしていただければ、沖縄生物学会にもご参加頂けます。

*沖縄生物学会の会場は、理系複合棟です。

発表スケジュール

6月4日(土)

9:00~10:30 口頭発表

O1 日本産スナギンチャク類の分類学的研究

°藤井琢磨・James Davis Reimer

O2 明瞭な節部を欠くユニークなイソバナ科 (八放サンゴ亜綱: ウミトサカ目)の1未記載種

°野中正法・Frederic Sinniger

O3 沖縄大浦湾の砂泥底で得られた起立性コケムシ *Lanceopora* 属の1未記載種と芽体を用いた生殖様式

°広瀬雅人・小淵正美

O4 日本列島で確認された外来ホヤ *Microcosmus squamiger* Hartmeyer and Michaelsen, 1928 の動態

°西川輝昭・植田育男

O5 タイ・アンダマン海沿岸の海草帯に生息する *Daptonema* 属線虫について

°鬼頭研二・Aryuthaka, Chittima

O6 深海性化学合成群集の貝類の多様性 – 最近の発見

°佐々木猛智・渡部裕美・狩野泰則・藤倉克則・小島茂明

10:45~12:00 口頭発表

O7 インド・西太平洋熱帯域に広く分布するサラサエビ属の1未記載種 (甲殻上綱: 十脚目: サラサエビ科)

奥野淳兒

O8 四万十川河口域で採集されたゲンコツヨコエビ科 (甲殻類: 端脚目) の未記載種について

°有山啓之・東健作

O9 東シナ海より得られた *Stephonyx* 属 (甲殻亜門: 端脚目: フトヒゲソコエビ上科) の分類学的研究

°檜原有紀子・富川光・鳥越兼治

O10 オランダにあるシーボルトら収集の動物標本類

山口隆男

O11 Férussac と d'Orbigny が日本産頭足類の記載に使用した日本の資料について

°滝川祐子・吉野哲夫

13:20~14:00 授賞式・受賞者講演

14:15~14:45 口頭発表

O12 JAMSTEC の生物サンプル情報の一元管理と二次利用体制の構築

°伊勢戸徹・齋藤秀亮・田中克彦・華房康憲・丸山正・土田真二・藤倉克則・齋藤暢之・久積正具・新井隆弘・海洋生物多様性研究プログラム一同

O13 久米島海洋生物合同調査 KUMEJIMA 2009 の成果

°成瀬貫・Tin-Yam CHAN・Peter K. L. NG・藤田喜久

14:45~16:15 ポスター発表

P1 土佐湾で採集されたMyriopathidae科 (六放サンゴ亜綱: ツノサンゴ目)の未記載種について

°高岡博子

P2 キッカサンゴ属とアナキッカサンゴ属の分類学的再検討

°杉原薫・座安佑奈・立川浩之・野村恵一・深見裕伸

P3 日本産シオガマサンゴ属(刺胞動物門: 花虫綱: イシサンゴ目)の再検討
立川浩之

P4 飼育サンゴにおける分類形質の再検討

°山本広美・金谷悠作・永田俊輔

P5 エイラクブカに寄生していた条虫類*Erudituncus musteli*と*Erudituncus*属の未記載種

°倉島陽・清水俊哉・間野伸宏・小川和夫・倉持利明・藤田敏彦

P6 琵琶湖周辺の水田で採取された多様なイタチムシ

°鈴木隆仁・常木和日子・古屋秀隆

P7 北海道における海産自由生活性線虫オンコライムス属の種多様性

°嶋田大輔・柁原宏・Matthew H. Dick

P8 広島県竹原で採集された動吻動物の分類学的研究

°山崎博史・柁原宏・Matthew H. Dick

P9 日本産海産魚類の体表および鰭条から得られた寄生性カイアシ類*Peniculisa*属 (ペンネラ科)4新種

°上野大輔・長澤和也

P10 *Parapolycope spiralis* (貝形虫綱: ポリコープ科) と3形態群

田中隼人

P11 沖縄本島、西表島および石垣島より得られた貝形虫(甲殻類)について

蛭田眞平

- P12 沖縄島で採集されたヤドカリ寄生性ナガフクロムシ科3種の形態とDNAバーコーディング
°吉田隆太・大澤正幸・広瀬慎美子・広瀬裕一
- P13 日本産ヨコエビ属（甲殻亜門：端脚目：ヨコエビ科）の系統分類学的研究
富川光
- P14 日本産トゲワレカラモドキ*Caprella californica* Stimpson, 1857（甲殻綱：端脚目：ワレカラ科）の分類学的再検討
°竹内一郎・小山田亜希
- P15 小笠原諸島より得られたインゴルフィエラ亜目（甲殻亜門：端脚目）の1未記載種
°下村通誉・角井敬知
- P16 形態から推察されるオオバウチワエビ浮遊幼生の第3顎脚および胸脚の清掃機能
°若林香織・佐藤力・神尾道也・秋葉龍郎・田中祐志
- P17 *Parapolybia indica* 種群の種分類体系の再検討と系統関係（昆虫綱：ハチ目、アシナガバチ亜科）
斎藤歩希
- P18 mtDNAの塩基配列にもとづく琉球列島のアマビコヤスデ属*Riukiaria*とその近縁群*Yaetakaria*、*Xystodesmus* (Diplopoda: Polydesmida: Xystodesmidae)の系統関係とその分類の検討
°中村泰之・Zoltán KORSÓS
- P19 日本におけるサソリモドキ類（サソリモドキ目；クモ綱）の分子系統地理
長田諭実・°唐沢重考・本多正尚・八畑謙介・青木淳一
- P20 日本近海の熱水噴出孔生物群集と鯨骨生物群集から見つかったサメハダホシムシ亜属の分類学的検討
°吹野真祐・藤原義弘・西川輝昭
- P21 天草富岡湾から得られた箒虫動物の1未記載種と浜名湖から得られた日本初報告種 *Phoronis psammophila* Cori, 1889
°広瀬雅人・吹上理勇真・柁原宏
- P22 相模湾産オオウミシダ(棘皮動物門：ウミユリ綱)の成長にともなう形態変化
°幸塚久典・大森紹仁・杉井那津子・関藤守
- P23 ウチダカギナマコ *Scoliorhapis lindbergi* の系統的位置の考察
°井上絢子・柁原宏
- P24 日本産イモリ属2種の分子系統地理解析
°富永篤・松井正文・吉川夏彦・西川完途・林光武

P25 伊豆諸島八丈島の外来種爬虫類はいかにして持ち込まれたか

°岡本卓・栗山武夫・五箇公一

P26 ミトコンドリアDNAに基づくオキナワトカゲの系統地理

°栗田和紀・疋田努

17:25~19:05 沖縄生物学会・日本動物分類学会合同大会シンポジウム

「琉球の生物地理—今後の展開に向けて」

1. 趣旨説明

戸田守

2. 陸生植物も海を渡る—琉球における植物分散の追跡—

國府方吾郎・横田昌嗣

3. 北限サンゴ礁海域における海洋性ベントスの遺伝的集団構造

井口亮

4. ザトウムシの仲間からみた琉球の島嶼生物地理

鶴崎展巨

5. メタ個体群の考え方にに基づく両生爬虫類の島嶼間分散の推定の試み

戸田守

6. 総合討論「今後の展望を巡って」

司会：富永篤

6月5日(日)

8:30~10:00 口頭発表

O14 Taxonomy and geography of Julidan millipedes in the Ryukyu Archipelago (Diplopoda, Julida)

°Zoltán KORSÓS

O15 琉球列島におけるギンボシザトウムシ種群の核型・外部形態の地理的分化および本種群の系統的位置

°鶴崎展巨・Marshal Hedin・田中孟・戸田守

O16 マネビルの正体とキバビルとの関係

中野隆文

O17 日本産シマイシビル（環形動物門：環帯綱：イシビル科）の系統分類学的研究

°間賀綾音・富川光・鳥越兼治

O18 アマオブネ上目腹足類の幼生における着底サイズの系統分類学的傾向とその有用性

°福森啓晶・狩野泰則

O19 東シナ海中・北部海域上部漸深海帯より採集されたゴカクヒトデ類

°木暮陽一・橋本惇・山脇信博

10:15~12:00 口頭発表

O20 佐渡産無足ナマコ類の一新種

°小松美英子・内田勝久・下谷豊和・野崎眞澄・Francisco A. Solís-Marín

O21 ツルクモヒトデ目（棘皮動物門：クモヒトデ綱）の系統分類学的研究

°岡西政典・Tim O'Hara・藤田敏彦

O22 ウツボカズラで繁殖する旧世界最小ガエルの正体

松井正文

O23 フトイモリ属の2新種について

°西川完途・松井正文・江建平

O24 遺伝的解析により見出された東北日本産ハコネサンショウウオの隠蔽種

°吉川夏彦・松井正文・西川完途

O25 淡水性カメ類の方言

°疋田努・鈴木大

O26 カワネズミ属 *Chimarrogale* の種分類

°本川雅治・呉毅・篠原明男・原田正史・李玉春

アクセス

一番便利なのはタクシーの相乗りです。空港から琉大まで3500円ほどです。また、空港よりモノレールで儀保駅、あるいは古島駅まで行き、そこからタクシーで琉大まで約1200～1500円です。空港からの高速バスも、大学から徒歩5分ほど(会場から徒歩15分ほど)の場所まで直接行けます。

大会会場・懇親会会場となる大学会館・中央生協へは、東口から徒歩10分弱、北口から10分ほどです。また評議員会を行う亜熱帯島嶼科学研究拠点棟3Fは、北口から5分ほどです。

高速バスを利用する場合(琉大北口)

- ・那覇空港の到着口B正面の出口を出るとすぐ路線・高速バス乗り場があります。高速バス琉球大学行きは
 - ・3番バス乗り場--113番,123番
 - ・5番バス乗り場--111番から発車します。
- ・那覇空港-琉大入口の時間は約30～40分です。
- ・運賃は720円で後払いになります。
- ・琉大北口まで徒歩約5分で到着します。

路線バスを利用する場合(琉大北口)

- ・路線バスを利用する場合は空港から那覇バスターミナルへ移動します。那覇バスターミナルバス乗り場4番ホームから97番(那覇バス)、旭橋バス停から琉大北口(左記)行き98番(琉球バス交通)が出発します。
- ・経路(*98番)は次の通りです。我那覇→宇栄原団地前→小禄→那覇バスターミナル→牧志→バイパス→広栄→真栄原→沖縄国際大学前→長田→琉大北口(終点)
- ・時間は40分～50分です。

路線バスを利用する場合(琉大東口)

- ・路線バスを利用する場合は空港から那覇バスターミナルへ移動します。那覇バスターミナルバス乗り場4番ホームから琉球大学千原キャンパス東口(左記)行き97番(那覇バス)が出発します。
- ・路線は次の通りです。
那覇バスターミナル→牧志→山川→儀保→西原入口→棚原→琉大病院前→琉大附属小学校前→琉大東口→琉大北口
- ・時間は約40分～50分です。
- ・運賃は510円です。(琉大東口)
- ・バスを降りて左へ進むと、ほっともっと(弁当屋)があります。その手前の道を右に曲がると琉大東口入口が見えてきます。

琉球大学千原キャンパス



日本動物分類学会第47回大会実行委員会

実行委員長 成瀬 貫

副実行委員長 藤田喜久

実行委員 上野大輔・小淵正美・太田悠造・山本友里恵・鈴木雄也・藤井琢磨・
伊礼由佳・Low Ern Yee Martyn・吉田隆太・水山克・式場はるか・
高間億人・伊礼由佳

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町千原 1 琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟

TEL/FAX 098-895-8832; E-mail: narusetohru@gmail.com